

# 令和5年度 第1回まちづくりミーティング

日時：令和5年8月2日（火）14：00～14：50

場所：福知山市役所3階 301会議室

団体：京都生活協同組合 両丹ブロック

## ○主な話し合いの内容

市長： 京都生協様とは定期的にまちづくりミーティングを実施させていただいており、前回、前々回は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンライン形式で行ったが、今回はようやく面談して意見交換できることになった。

本日は、京都生協様の昨年度活動報告をお聞かせいただき、その上で懇談させていただけると聞いている。

本市においては、京都生協の方をはじめ、事業者の皆さんと意見交換をし、お互いの取組みを知ることで、連携しながらより良い行政サービスを目指したいと考えている。

行政としてできうる部分や事業の強化及び推進に向けて、皆様と膝を交えて率直に意見交換し、福知山市の将来に向け有意義な場にしたいと願っているのよろしく願います。

## 団体：～京都生活協同組合両丹ブロックの昨年度活動状況及び今年度重点課題、併せて通常総代会議案書の説明～

### 【説明に関する意見交換】

団体： 京都生協で行っている「いきもの学校」を福知山市の植物園で開催したいと考えている。

市長 協力させていただきたいと思うので、植物園・市の担当課と相談していただきたい。

市長： 先ほど紹介していただいた福祉事業は、北部地域では福知山市のみで展開されていると伺ったが、職員は何名程在籍されているか。

団体： ケアマネージャー4名、訪問スタッフ7名、登録スタッフ20名、計30人程度である。

市長： 利用者は何名程度利用されているか。

団体： 約130人に利用していただいている。

市長： 利用者の方の中には、介護度の高い方もいらっしゃると思う。

団体： 中にはいらっしゃるが、この基本ケアをもとに在宅でケアできるよう取組みを進めている。

市長： 本市においても、アクティブシティの取組みを進めており、その1つに健康管

理アプリである KENPOS の開発がある。目的は健康寿命を延ばすことであり、生活習慣病予防などのためにも若い世代の方も活用していただきたいと思う。

団体： 福知山市ではアプリをいくつぐらい開発されているのか。

市長： 先ほどの KENPOS、防災アプリ、福ぽの計 3 つである。防災アプリは 1 万ダウンロードを超えており、地域で作成するハザードマップであるマイマップの作成も促進している。このことにより、自分の住んでいる地域の危険度を知ることができることもあり、そのことについて地域に出かけて講習も行っている。

団体： 様々なお知らせなどをする中で、福知山市民の方々はすごく反応が良いように感じている。また、福知山市の企画やイベントを目にすることが多くなってきた。何か意識していることはあるのか。

市長： 市としては、光秀マインド（挑戦心）を育ててほしいという想いで施策を展開している。また、各事業を担当する担当課が事業の一部として「広報」をとらえるように伝えてきた。1 つ事業を行うに当たっても市民の皆様はその情報を届けていかないと意味がないと考えている。

職員に対しても、その点はしっかり伝えており、事業を担当する担当課と広報担当課が連携して効果的な広報をしていきたいと考えている。

団体： 参考にさせていただき、京都生協の取組みについても効果的な広報をしていきたいと考えている。

